

平成27年度

下野市

図書館評価報告書

2016年8月

下野市立図書館

目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について	2
2. 総合評価（外部評価）	3
3. 図書館協議会委員による意見	4
4. 総評	6
5. 図書館協議会委員名簿	7
6. 図書館協議会会議の開催	7

関係資料

- ・ 内部評価
- ・ 事業評価シート

1. はじめに

(1) 趣旨

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入され、直営館の南河内図書館とともに「子ども・市民の豊かな心の育成と地域文化の向上を目指して」を基本理念に、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

また、平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正に伴い、県内各図書館に先駆けて平成26年度事業から図書館評価を始めました。

本年度も引き続き図書館評価を実施し、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

図書館評価に関する法令・基準の抜粋

◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

◎公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日 文部科学省告示第172号)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

(2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、各図書館長による内部評価と市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施いたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と16の中項目に分類したうえで、36の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし次の評価基準で評価いたしました。

また、平成27年度評価からマニュアルの一部を変更し、外部評価をもって総合評価とすることにいたしました。

小項目

評 価	評価内容及び基準
A=100%	計画通り事業を実施し、目標水準を超える成果がある。
B=75%	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C=50%	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D=0%	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価（各評価の配点に乗じて採点）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。（評価点の小計が配点の80%以上）
B	当該分野について、概ね適正である。（評価点の小計が配点の60%以上）
C	当該分野について、改善が必要である。（評価点の小計が配点の40%以上）
D	当該分野について、相当な改善が必要である。（評価点の小計が配点の40%未満）

総合評価（外部評価）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

2. 総合評価（外部評価）

大項目	中項目	小項目	南河内			石橋			国分寺						
			評価	点数	合計	評価	点数	合計	評価	点数	合計				
I 適正かつ 効率的な 図書館 運営を 目指す	1. 市立図書館のはたすべき 役割と理念に基づく図書館 運営	1. 運営規則に基づいた業務の実施	A	2	16 /20点 評価 A	B	1.5	15.5 /20点 評価 B	A	2	15.5 /20点 評価 B				
		2. 「図書館の自由に関する宣言」に 則した運営	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
		3. 計画的な図書館施設整備の 検討・運営	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
	2. 市民ニーズや時代に適した 図書館運営	1. アンケートの実施	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
		2. 経費節減への取組 (ア) 独自財源の確保 (イ) ランニングコストほか	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
		3. 効率的な図書館運営	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
	3. 図書館員としてふさわしい 人材の配置と育成	1. 職員の構成	A	2		B	1.5		B	1.5					
		2. 人材育成	B	1.5		B	1.5		B	1.5					
	II 社会教育 施設とし ての図書 館	1. 市民に親しまれる図書館	1. 利用者の拡大	B		2.25	29.75 /36点 評価 A		B	2.25		27 /36点 評価 B	B	2.25	27.75 /36点 評価 B
			2. 職員の市民対応	B		2.25			B	2.25			B	2.25	
2. 市民にとって魅力的な資料 の収集		1. 資料の収集	B	2.25	B	2.25		B	2.25						
		2. 雑誌・新聞の収集	B	1.5	B	1.5		B	1.5						
3. 市民の要望に応じた資料提供		1. 資料貸出サービス	B	3	C	2		B	3						
		2. リクエストサービス	A	4	A	4		B	3						
		3. 延滞資料への対応	A	4	B	3		B	3						
4. 市民が求める情報の提供		1. レファレンス・サービスの利用促進	A	3	B	2.25		B	2.25						
		2. レファレンス資料とツールの充実	B	1.5	B	1.5		B	1.5						
		3. 利用者支援(図書館入門講座)	B	1.5	B	1.5		B	1.5						
5. 生涯学習の支援		1. 図書館を拠点とした市民活動の 支援	B	2.25	B	2.25		B	2.25						
		2. 講座・講演会による学習の提供	B	2.25	B	2.25		A	3						
III 誰もが 利用で きる図 書館		1. 子どもの読書環境の整備支援	1. 「下野市子どもの読書活動推進計画 (第二次)」	B	1.5	12.5 /16点 評価 B		B	1.5	12 /16点 評価 B	B		1.5	12 /16点 評価 B	
			2. おはなし会	B	1.5			B	1.5						
			3. 「みんなで読もう、子どもの本」	B	1.5			B	1.5						
	2. 学校・学校図書館との連携	1. 学校図書館支援	A	2	B		1.5	B	1.5						
		2. 職場体験	B	1.5	B		1.5	B	1.5						
	3. 高齢者や障がい者の利用促進	1. 高齢者サービス	B	2.25	B		2.25	B	2.25						
		2. 障がい者サービス	B	2.25	B		2.25	B	2.25						
IV 図と市 書も民 にと 歩む	1. 図書館に対する参画の推進	1. 図書館協議会への諮問	B	2.25	9.75 /13点 評価 B	B	2.25	9.75 /13点 評価 B	B	2.25	9.75 /13点 評価 B				
		2. 市民との協働事業の企画・運営	B	3		B	3		B	3					
	2. 読書活動に関わる市民に 対する支援	1. 地域団体等への読書支援	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
		2. ボランティアへの援助・育成	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
V を果公 有た共 したす施 図べき設 書機しと 館能て	1. 図書館のPR	1. 図書館サービスの市民へのPR	B	2.25	11.25 /15点 評価 B	B	2.25	11.25 /15点 評価 B	B	2.25	11.25 /15点 評価 B				
		2. 図書館サービスの行政内部へのPR	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
	2. 快適で、居心地の良い施設 環境	1. 危機管理・リスクマネジメント	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
		2. 快適で、居心地の良い施設環境	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
	3. 市民にとって使いやすい施設	1. 開館日・開館時間等の改善	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
平成27年度 外部評価 合計 点数				79.25		75.50		76.25							
				B		B		B							

3. 図書館協議会委員による意見

(1) 南河内図書館

- ・南河内図書館は明るい雰囲気があり、声をかけやすく、対応も良い
- ・利用者数、貸出冊数、リクエスト件数、レファレンス件数が、全て前年度より増加したことは評価できる
- ・平成26年度と比較して、改善・改革の成果が見受けられ、民間との協働運営の相乗効果が感じられる
- ・経年劣化した各館の修繕、工事を適切に行うなど、直営館（幹事館）としての重要かつ多忙な役割を全う、発揮したことは評価に値する

<課題>

- ・雑誌スポンサー制度の実績は評価できるが、更なるPR活動を望む
- ・読みたいと思う人が多い本も大切であるが、図書館でしか借りられない本を受け入れることも大切である
- ・定期的を実施しているおはなし会やお楽しみ会などの工夫を望む

(2) 石橋図書館

- ・石橋図書館は静かな雰囲気の良いのだが、少し堅苦しく感じる
- ・利用者拡大の取り組みとしてミニコミ誌でPRをしたり、アンケートの要望などを直ちに実行したことは評価できる
- ・レファレンス事例の共有、保存は、有意義なことであると評価する
- ・生涯学習支援として取り組んでいる古典文学講座など、長期続いている講座の継続と、利用者が多く参加する魅力ある講座の開催を望む

<課題>

- ・自動販売機等の売り上げの活用は民間ならでのことで大いに利用すべきであるが、どのような事業等に活用されたのか分かるようにしてほしい
- ・市職員への図書館利用のPRを望む
- ・市民一人当たりの貸出点数が目標に達しなかった原因を考察し、28年度に活かしてほしい

(3) 国分寺図書館

- ・国分寺図書館職員の努力が感じられ、常に前向きな姿が良いと思う
- ・館周辺の点検や館内の展示、各種イベント等に努力しており、これからも市民、子どもの文化水準の向上に寄与してほしい
- ・食育講座や文学講座などを通し市民の活動を支援することにより、図書館も成長できるので、持続して開催し図書館の可能性を広げてほしい
- ・2階閲覧席を席札制にし座席を指定することにより、学生にも一般利用者にも利用しやすい環境になったことは評価できる

<課題>

- ・図書館の中心である2階にサービスカウンターを設けることや、エレベーターの設置などを検討してほしい
- ・延滞者への督促と、長期延滞者への対処を検討してほしい
- ・各種イベントや講座の多様性は認められるが、図書館本来の使命なども考慮しながら、特性を活かした運営を望む

(4) 全図書館

<課題>

- ・図書館サービスの基礎を支える資料の収集のため、図書費の予算獲得に努力願いたい
- ・大活字本の収集とPR、音訳CDの活用とPR、点字絵本の充実など、高齢者や障がい者のさらなる利用促進を図ることが必要である
- ・行政内部（市職員・市議会議員等）へのレファレンスサービスや貸出のPRの拡大を望む
- ・老朽化に伴う施設の改修や整備について、長期計画を作成して取り組むことを望む
- ・開館日、開館時間の改善について、季節や地域性、利便性及び費用対効果の検討が必要である

4. 総評

図書館協議会の外部評価において、各図書館とも概ね良好な運営がされていると評価します。

各館がそれぞれの特色を生かしたサービスや事業を行いながら、直営館と指定管理館が連携して講座や催しものを開催するなど、直営と民間の相乗効果による成果が見受けられました。

平成27年度は、各館で空調設備や雨漏りによる修繕が必要な事態となりましたが、南河内図書館では夏季における空調の不具合に早急に対応し、利用者への影響を最小限に抑えられ、また石橋図書館と国分寺図書館においても、直営館（幹事館）である南河内図書館と連絡を密にとり、いずれも迅速な対応ができたと考えます。今後も、利用者の快適で居心地の良い施設環境の確保のため、老朽化する施設の計画的な整備を望みます。

今回は、2回目の外部評価でしたが、昨年度の課題であった評価基準を見直すなど、より適正な評価が実施できたと考えます。しかし、内部評価における“目標水準を超える成果”の考え方には依然として3館に相違があると思われまます。このため、平成28年度評価からの内部評価は単年度目標に対する成果報告とします。また外部評価においても小項目ごとの評価はせず、中項目の評価のみに改めることといたします。

5. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等
有野 一夫	学識経験者
青木 ムツミ	学識経験者
平出 文子	学識経験者
城鳥 律子	南河内図書館ボランティア
渡辺 満寿美	石橋図書館ボランティア
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア
高木 智子	公募委員
武子 保	公募委員
館野 正治	国分寺西小学校長
上野 保久	南河内第二中学校長

6. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
平成28年 6月14日 (火)	内部評価のプレゼンテーション
平成28年 7月 5日 (火)	外部評価実施について
平成28年 7月26日 (火)	評価結果報告について
平成28年 8月 2日 (火)	評価結果の確認・公表について

関係資料

- ・ 内部評価
- ・ 事業評価シート

内部評価

大項目	中項目	小項目	南河内			石橋			国分寺						
			評価	点数	合計	評価	点数	合計	評価	点数	合計				
I 適正かつ効率的な図書館運営を目指す	1. 市立図書館のはたすべき役割と理念に基づく図書館運営	1. 運営規則に基づいた業務の実施	A	2	17.25 /20点 評価 A	A	2	19.5 /20点 評価 A	A	2	20 /20点 評価 A				
		2. 「図書館の自由に関する宣言」に則した運営	B	1.5		B	1.5		A	2					
		3. 計画的な図書館施設整備の検討・運営	B	1.5		A	2		A	2					
	2. 市民ニーズや時代に適した図書館運営	1. アンケートの実施	A	3		A	3		A	3					
		2. 経費節減への取組 (ア)独自財源の確保 (イ)ランニングコストほか	A	2		A	2		A	2					
		3. 効率的な図書館運営	B	2.25		A	3		A	3					
	3. 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成	1. 職員の構成	A	2		A	2		A	2					
		2. 人材育成	B	1.5		A	2		A	2					
	II 社会教育施設としての図書館	1. 市民に親しまれる図書館	1. 利用者の拡大	A		3	31 /36点 評価 A		B	2.25		31.5 /36点 評価 A	A	3	36 /36点 評価 A
2. 職員の市民対応			B	2.25	A	3		A	3						
2. 市民にとって魅力的な資料の収集		1. 資料の収集	B	2.25	B	2.25		A	3						
		2. 雑誌・新聞の収集	B	1.5	A	2		A	2						
3. 市民の要望に応じた資料提供		1. 資料貸出サービス	B	3	C	2		A	4						
		2. リクエストサービス	A	4	A	4		A	4						
		3. 延滞資料への対応	A	4	B	3		A	4						
4. 市民が求める情報の提供		1. レファレンス・サービスの利用促進	A	3	A	3		A	3						
		2. レファレンス資料とツールの充実	B	1.5	A	2		A	2						
		3. 利用者支援(図書館入門講座)	A	2	A	2		A	2						
5. 生涯学習の支援		1. 図書館を拠点とした市民活動の支援	B	2.25	A	3		A	3						
		2. 講座・講演会による学習の提供	B	2.25	A	3		A	3						
III 誰もが利用できる図書館		1. 子どもの読書環境の整備支援	1. 「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」	B	1.5	14.25 /16点 評価 A		A	2	15.5 /16点 評価 A	A		2	16 /16点 評価 A	
			2. おはなし会	A	2			A	2		A		2		
			3. 「みんなで読もう、子どもの本」	A	2			A	2		A		2		
	2. 学校・学校図書館との連携	1. 学校図書館支援	A	2	B		1.5	A	2						
		2. 職場体験	B	1.5	A		2	A	2						
	3. 高齢者や障がい者の利用促進	1. 高齢者サービス	B	2.25	A		3	A	3						
2. 障がい者サービス		A	3	A	3	A	3								
IV 図書館と市民と歩む	1. 図書館に対する参画の推進	1. 図書館協議会への諮問	A	3	11.25 /13点 評価 A	A	3	11.25 /13点 評価 A	B	2.25	12.25 /13点 評価 A				
		2. 市民との協働事業の企画・運営	B	3		B	3		A	4					
	2. 読書活動に関わる市民に対する支援	1. 地域団体等への読書支援	B	2.25		A	3		A	3					
		2. ボランティアへの援助・育成	A	3		B	2.25		A	3					
V 公共図書館を果敢とすべき施設と機能	1. 図書館のPR	1. 図書館サービスの市民へのPR	B	2.25	11.25 /15点 評価 A	A	3	12.75 /15点 評価 A	A	3	14.25 /15点 評価 A				
		2. 図書館サービスの行政内部へのPR	B	2.25		B	2.25		A	3					
	2. 快適で、居心地の良い施設環境	1. 危機管理・リスクマネジメント	B	2.25		A	3		A	3					
		2. 快適で、居心地の良い施設環境	B	2.25		B	2.25		B	2.25					
	3. 市民にとって使いやすい施設	1. 開館日・開館時間等の改善	B	2.25		B	2.25		A	3					
平成27年度 内部評価			合計点数 評価			85.00 A			90.50 A			98.5 A			

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 27年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数	
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目			
II 社会教育施設としての図書館【配点36点】																		
1 市民に親しまれる図書館(配点6点)																		
		1 利用者の拡大	より多くの市民に利用される図書館を目指すため、有効登録者数(在勤・在学を含む)の増加を目指します。	「赤ちゃんといっしょ」等、定期的だが、新規の利用者が参加できる行事を行い、利用者の増加に努めます	記述	行事をきっかけに子育て中の未就園児の親子が多く利用するようになり、登録者も増えた。また市民課窓口で転入者に利用案内を配布した結果、それを見て来館する人がおり効果があった。	3	A	3	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃からの読書習慣が大切なので、多くの親子が参加できることを望む ・市民課窓口での配布は良い手立てである 	外部評価小計の合計点数	
		2 職員の市民対応	市民に、より親しまれ信頼される職員を目指し、市民対応についての満足度を向上させます。	利用者へのあいさつ、声掛け、言葉遣い等日々の業務の中で、接遇に対する意識を高く持ち、向上と改善を図ります。	記述	元気な挨拶と丁寧な言葉遣いを心がけた。市民からの意見を真摯に受け止め、改善していく。	3	B	2.25			B	2.25					<ul style="list-style-type: none"> ・職員の接客態度がムードを変える ・意見の中に改善を求める事項があったのか？プラス意見もあったのではないか？
取組実績		本年度新規事業として0歳児とその保護者を対象に「赤ちゃんといっしょ」を実施した結果、毎月参加する親子も増え、確実に図書館を利用する未就学児とその保護者が増えました。また2階の市民課窓口で待つ間に読めるように絵本を設置したことで、帰りに図書館に立ち寄りやすい雰囲気を作ることができました。																
2 市民にとって魅力的な資料の収集(配点5点)																		
		1 資料の収集	市民のニーズに応えるため、利用頻度の高い資料と所蔵しておくべき資料とのバランスを考慮しつつ、各館の運営方針に応じた資料収集を行います。	下野市立図書館資料取扱要綱の基づき、利用者のニーズに添った資料収集に努めます。	記述	利用者のリクエストや問い合わせの多い本を参考に収集した。本屋大賞や芥川賞・直木賞など、問い合わせが多く利用が見込めるものについての収集を検討し、提供に努めた。	3	B	2.25	3.75	B(3点以上)	B	2.25	3.75	B(3点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「読みたいと思う人が多い本」を選ぶことは大切であるが、図書館でしか借りられない本を受け入れることも大切である ・少ない予算できめ細かな対応は評価する 	評価項目(A~D)	
		2 雑誌・新聞の収集	公立図書館として最低限必要な保存機能を考慮し、バランスのとれた収集・保存を実施します。	各図書館における収集・保存の在り方を検討し、重複誌を整理し収集数の増加を図ります。	記述	3館で同タイトル、同内容の雑誌の購入を調整し、下野市立図書館として多種類の収集に努めた結果、貸出冊数が増加した。	2	B	1.5			B	1.5					<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集は図書館サービスの基礎を支えるものであり、予算の獲得が重要である
取組実績		利用者の声に応じて、新たな文芸雑誌や、シニア層向けの雑誌を入れたところ、反響が大きく、利用拡大につながりました。地域性や当館の利用者のニーズに合わせた選書を今後も心掛けていきます。																
3 市民の要望に応じた資料提供(配点12点)																		
		1 資料貸出サービス	市民一人当たりの貸出点数の拡大を図ります。	平成26年度目標達成できなかったため、本年度も市民1人当たりの貸出点数を2点にします。	数値	利用者数・貸出冊数ともに前年度より増加したものの目標達成ならず。引き続き取り組む。(H26度1.79冊 H27度1.84冊)	4	B	3	11	A(9.6点以上)	B	3	11	A(9.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約した本がなるべく早く手に入るように努力を願う ・利用者数・貸出冊数は、図書館の利便性にも影響するので、少しでも増加した事は評価する 		
		2 リクエストサービス	市民の求める資料を確実に提供するため、市民に対する図書のリクエスト制度(栃木県内図書館相互貸借)や市内図書館の資料予約制度の周知を行います。	図書のリクエスト制度や予約制度、県内図書館との相互貸借サービスなど周知を実施します。	数値	予約やリクエストの案内を積極的に行った。予約件数は昨年度1,959件に対して2,914件で149%であった。	4	A	4			A	4					<ul style="list-style-type: none"> ・予約やリクエストなどの周知に努めたことも評価する
		3 延滞資料への対応	貸出資料に占める延滞資料の割合を引き下げます。	定期的な督促を継続的に実施し、長期延滞者を極力作らないように努めます。	数値	定期的に督促を行い、1年以上の長期延滞者をなくした。	4	A	4			A	4					
取組実績		インターネットによる在架予約の開始の効果もあり、予約件数が昨年度比149%となりました。リクエストに関しても、購入以外に県内他館からの相互貸借もできることを含めた周知を積極的に行いました。長期延滞者に対しては昨年度に引き続き、連絡する時間帯を変えるなど工夫をして粘り強く対応した結果、5名いた1年以上の長期延滞者がなくなり、資料も返却されました。今後も、長期延滞になる前に返却していただけるよう、こまめに督促をしていきます。																

29.75 / 36点

A(28.8点以上)

4 市民が求める情報の提供(配点7点)															
1	レファレンス・サービスの利用促進	潜在的ニーズの掘り起こしや、利用者のレファレンスに対する認知度が上がるような改善に取り組み、利用者にとってより身近なレファレンスサービスを目指します。	レファレンス資料の分類別の別置や身近な活用例などのPRを実施します。	数値	検索性パソコンを利用している方などに声掛けをし、レファレンスサービスに努めた。件数は昨年度1,536件に対し2,139件と139%であった。	3	A	3	6.5	A(5.6点以上)	A	3	6	A(5.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> レファレンスサービスの件数増はよい結果である レファレンスは貸出と同様に図書館の重要なサービスであり、パソコンでの検索も便利だが、職員の資質の向上も重要 子ども司書体験後の導き方が重要であり、事後活動が活発になることを希望する
2	レファレンス資料とツールの充実	質問内容の多様化・専門化に対応できるように、電子媒体等も含め多種多様なレファレンス使用の充実に努めます。	レファレンスの事例を考慮し、必要な資料の収集に努めます。	記述	レファレンス事例を臨時職員を含めた全員で共有するよう努めている。図書館資料だけでは不足な新しい事例には、インターネットの案内をした。	2	B	1.5			B	1.5			
3	利用者支援(図書館入門講座)	資料の探し方や予約の仕方などを案内する図書館入門講座をさらに充実させ、市民の図書館利用を支援します。	子ども司書体験講座をはじめ、職場体験や図書館見学などを積極的に受け入れます。	記述	子ども司書体験講座や職場体験の受入れにより、さらに図書館を利用してもらえるようになった。子ども司書認定者が休日等に手伝うなど、事後活動につながった。	2	A	2			B	1.5			

取組実績

南河内地区の各小学校の図書館見学やまち探検等の受け入れをしました。また、南河内中学校、南河内第二中学校、国分寺中学校の職場体験を受け入れました。さらに市内在住の上三川高校教諭の「10年目研修」としての社会体験研修を受け入れました。子ども司書に認定された小学生が、講座終了後来館時に書架整理やその他の手伝いを積極的にするなど、事業の成果が表れました。

5 生涯学習の支援(配点6点)															
1	図書館を拠点とした市民活動の支援	市民が参加する活動に対して、広く施設の活用を呼びかけます。	図書館ボランティア活動を積極的にPRしていきます。	記述	お知らせコーナーで活動の紹介をした。南河内中美術部員による手作り大型紙芝居の発表の場を設けた。	3	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の大型紙芝居の発表は効果がある工夫である 図書館講座に中高生が参加することは、利用者増につながる
2	講座・講演会による学習の提供	魅力的なテーマの講演会や講座などを開催し、市民の学習支援を行います。	公民館講座との連携を積極的に進め、図書資料の提供を行い、市民の自主的な学習の支援に努めます。	記述	公民館講座の時に関連本のリストを配布した。	3	B	2.25			B	2.25			

取組実績

クリスマスカード作り教室は、小学校中学年～中学生を対象に実施してきましたが、小学校低学年から親子で参加できるようにしたところ大変好評でした。また、「大人のための切り紙はり絵教室」については、子ども向けの開催の要望があったことから、今年度は大人向けのほかに小さな子どもでも参加できる内容の講座を実施しました。大型紙芝居の発表に参加した南河内中学美術部の生徒たちも参加してくれ、とても好評でした。

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 27年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
Ⅲ	誰もが利用できる図書館【配点16点】																
	1 子どもの読書環境の整備支援(配点6点)																
	1	「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」	「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」を推進するために関連団体や部署と連携して計画的に子どもの読書活動の振興を図ります。	引き続き、計画に添った事業を実施いたします。	記述	幼稚園・保育園・小学校への団体貸出、各種イベントの開催、「私の推薦する本」の募集、職場体験等各種事業を開催した。	2	B	1.5	5.5	A(4.8点以上)	B	1.5	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の推薦する本」の学年別の応募者数が分かると良い ・定期的実施しているおはなし会、お楽しみ会等、参加者は平均しているように感じるので、工夫を望む ・取組は評価できるので、更なる活動を望む 	外部評価小計の合計点数 12.5/16点
	2	おはなし会	子どものころから読書の習慣を身につけるよう、おはなし会などを開催します。	定例のおはなし会やお楽しみ会を継続して実施いたします。集客のための企画を考えていきます。	記述	定期的におはなし会、お楽しみ会を開催し、多くの親子の参加があった。南河内中美術部による手づくりの大型紙芝居の実演をした。	2	A	2			B	1.5				
	3	「みんなで読もう、子どもの本」	子どもと本の出会いの機会を大切にするために、子どもの心を育む本や、知識欲にこたえる図書を紹介します。	赤ちゃんの時から、よい絵本を知ってもらうため、親子教室を継続開催していきます。	記述	おすすめ本のリスト作成、配布とリスト掲載本の展示を実施した。「赤ちゃんといっしょ」開催時に、赤ちゃん絵本の紹介や読み聞かせを実施した。	2	A	2			B	1.5				
	取組実績		図書館ボランティア団体に協力いただき、地区内各小学校での朝の読み語りや学童保育への出張読み語りなど実施してきました。また、小学校のPTA活動として団体貸出にご協力いただき、地域の皆さまと連携し子ども読書活動に取り組んで参りました。さらに協働を進めていきたいを思います。													評価項目(A~D)	
	2 学校・学校図書館との連携(配点4点)																
	1	学校図書館支援	授業における図書の活用や、児童・生徒の図書館利用促進を目的として学校図書室の支援及び連携を強化します。	各学級単位の団体貸出を継続実施いたします。また、学校図書館担当者との意見交換会を継続的に実施していきます。	記述	各学級の希望を聞きながら、1クラス50冊の団体貸出を継続実施した。また学校図書館担当者との意見交換会を2回実施した。さらに「調べ学習に参考になる本」と題したリストを作成して提供した。	2	A	2	3.5	A(3.2点以上)	A	2	3.5	A(3.2点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館と連絡を密にして、子どもたちがより一層読書に関心を持つことを望む ・希望に沿った団体貸出は、一見地味だがとても大切である ・リスト作成は評価できる 	B(9.6点以上)
	2	職場体験	学校のキャリア教育の支援を行うため、各学校の職場体験授業を受け入れます。	職場体験・インターンシップ等、積極的に受け入れを実施します。	記述	中学生の職場体験を受入れた(南河内中、南河内第二中、国分寺中)。上三川高校教諭の研修を受け入れた。	2	B	1.5			B	1.5				
	取組実績		PTAの皆さまのご協力のもと、市内各小学校に1クラス50冊を限度にほぼ毎月団体貸出を実施しました。事前に学校から選書の希望を聞き、それに沿った資料を提供してきました。市内3中学校からの職場体験を受け入れました。また学校教諭の10年目研修としての職場体験を受け入れました。														
	3 高齢者や障がい者の利用促進(配点6点)																
	1	高齢者サービス	高齢者が利用しやすい環境作りとサービスの充実に努めます。	公民館の高齢者教室とタイアップして、必要とされている資料を提示・収集します。	記述	公民館講座に関係する図書のリストを作成し提供した。高齢者も楽しめる「さむらいもの」等の紙芝居を購入し、高齢者施設への団体貸出の充実を図るほか、ボランティア「あすか」による読み語りを実施した。	3	B	2.25	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の機関とのタイアップは良い取組で評価できる ・高齢者も楽しめる紙芝居は新しい視点である ・紙芝居も良いが高齢者に役立つものもあると良い 	
	2	障がい者サービス	誰でも同じように図書館を利用できるようなサービスを充実させるとともに、市民へのPRに努めます。	文学作品の音訳CDやカセットを有効活用できるよう、社会福祉協議会など関係各所と連携し積極的にPRしていきます。	記述	音訳ボランティア講座等、関係各所と連携して実施し、音訳CDの作成を進めた。社会福祉協議会と連携し、音訳ボランティア講座の内容をさらに充実したものにした。	3	A	3			B	2.25				
	取組実績		「音訳ボランティア体験講座」では読み方や発音等を中心に学んできましたが、今年度は社会福祉協議会と連携し、編集作業まで学べるようになりました。これにより、読むことは苦手でも編集なら手伝えるといったパソコン操作の得意な人の参加や、福祉的な目線で参加する人などもおり、より充実した講座となりました。来年度も同様に実施することが決定しています。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標)		指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
				27年度	28年度				評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
IV	市民とともに歩む図書館【配点13点】																	
	1 図書館に対する参画の推進(配点7点)																	
	1	図書館協議会への諮問	図書館協議会を設置して図書館運営への市民参画を促進します。	継続して、図書館評価に伴い意見集約を実施します。	記述	図書館評価の実施、図書館基本計画の意見集約。	3	A	3	6	A(5.6点以上)	B	2.25	5.25	B(4.2点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館評価、図書館基本計画はとて大変な作業なので評価する ・おすすめ本リスト作成は評価する ・出張公演までとはすごいと思う 	外部評価小計 の合計点数	
	2	市民との協働事業の企画・運営	事業の企画やブックリストの作成などに、市民と協働で取り組みます。	ボランティアと協働で、事業を実施します。	記述	おすすめ本リスト作成への協力や、パネルシアターの出張公演を実施した。	4	B	3			B	3					
	取組実績		図書館協議会の意見を伺い、図書館基本計画を策定しました。おすすめ本リストについては、今年度は小学校低学年向けをボランティアと協働で作成しました。リストに掲載された本をコーナーを設けて紹介し、すぐ手にとれるようにしたところ、借りていく子どもや保護者が多くみられました。また、南河内図書館を拠点に活動しているボランティア団体が、石橋や国分寺地区の小学校等にて出張公演をすることで、活動の場が増え、さらに充実した活動につながりました。														9.75 /13点	
	2 読書活動に関わる市民に対する支援(配点6点)																	
	1	地域団体等への読書支援	読書に関わる各種団体に、資料や情報、施設の提供を行い、その活動が一層活発になるよう支援します。	学校への読みきかせボランティアや図書館でのお話会のための、選書に積極的に協力します。	記述	季節の絵本等をおすすめコーナーに展示したり、おはなし会の選書に役立つようにした。	3	B	2.25	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にとって読み聞かせやおはなし会などのボランティアは不可欠であり、ボランティアのレベルアップ講座が必要である ・ボランティア交流会はすばらしい取組である 	評価項目 (A~D)	
	2	ボランティアへの援助・育成	ボランティアの養成と活動支援を実施します。	継続的に、ボランティアの養成講座やレベルアップ講座を実施します。	数値	初心者からレベルアップを図る人まで参加できる講座を実施し、新規加入者を得ることができた。南河内図書館ボランティア交流研修会を開催し、各団体の交流と情報交換を図った。	3	A	3			B	2.25					
	取組実績		個々に活動していた図書館ボランティアが、一堂に会して活動内容を発表する「南河内図書館ボランティア交流研修会」を開催しました。他団体の活動内容を知ることにより、理解を深め合うことができました。														B(7.8点以上)	

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標)		指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
				27年度	28年度				評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
V	公共施設として果たすべき機能を有した図書館【配点15点】																	
	1 図書館のPR(配点6点)																	
	1	図書館サービスの市民へのPR	図書館サービスを広く宣伝し利用者の拡大につなげます。	生涯学習情報誌「エール」に図書館サービス及び主な講座をページを拡大してPRします。また、市内転入者へのPRに務めます。	記述	「エール」やホームページの他、ポスターやチラシを幼稚園・保育園、小学校等に掲示・配布依頼した。	3	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「エール」での掲載をもう少し拡大してのPRを望む ・「エール」に載った効果はどうか ・行政内部へのレファレンスサービスや貸出のPRを望む ・市職員の利用率はどうか 	外部評価小計 の合計点数	
	2	図書館サービスの行政内部へのPR	市職員の業務等に、図書館の資料と機能を一層活用してもらえるよう、様々な機会を通じて行政内部に向けて図書館の有効性をPRします。	引き続き、直営館として庁内に積極的にレファレンスのPRを実施します。	記述	レファレンスに応じて職務に関する資料を提供した。過去の新聞や広報誌等に関する情報の提供をした。	3	B	2.25			B	2.25					
	取組実績		昨年の外部評価で「エール」の扱いをもっと大きく、とのご意見がありました。すでに27年度のエールは作成されていましたので、28年度のエールで対応しました。														11.25 /15点	
	2 快適で、居心地の良い施設環境(配点6点)																	
	1	危機管理・リスクマネジメント	図書館利用で発生するトラブルに対し、適切な対応ができるよう「危機管理マニュアル」の活用を推進し、職員の危機管理意識を高めます。	危機管理マニュアルに沿って、研修を実施し、災害等に対する危機意識を高めていきます。	記述	職員・利用者の安心・安全のため、日々意識するよう心掛けた。平成28年度に避難訓練を実施予定。	3	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施を求める ・利用者のためにも不備等の修繕は迅速に願う ・経年劣化した各館の修繕、工事は適切に行われたと評価する 	評価項目 (A~D)	
	2	快適で、居心地の良い施設環境	建物の経年劣化に対応し、維持管理に必要かつ適切な修繕を行います。	直営館として、各館の修繕・工事を迅速に行っていきます。	記述	石橋図書館の雨漏り、国分寺図書館のトイレ改修、及び南河内図書館の空調機器の薬品洗浄工事等を実施。	3	B	2.25			B	2.25					
	取組実績		2階レファレンス室に設置された監視モニターを常にチェックし、かつ定期的に巡回して、利用者の安心・安全に心がけました。平成28年度、2階の行政各部署が撤退した後、南河内公民館と合同で避難訓練を実施することが予定されています。直営館として、石橋・国分寺館の修繕を迅速に行いました。南河内図書館においては、空調機器の水垢を取る薬品洗浄工事を行い、快適な環境づくりに努めました。														B(9点以上)	

3 市民にとって使いやすい施設 (配点3点)															
1	開館日・開館時間等の改善	図書館利用の利便性向上とともに、費用対効果の観点から適正な開館時間の検討を行います。	開館時間が定着してきた中で、費用対効果の検討をしていきます。	記述	現在の開館時間等も定着してきた。利用者の要望と地域性等を考慮し、引き続き検討していく。	3	B	2.25	2.25	B(1.8点以上)	B	2.25	2.25	B(1.8点以上)	・季節や地域性等を考慮し、費用対効果の検討を望む
取組実績		利用者の安全面なども考慮し、日が短い冬場の閉館時間を早める「冬時間」の導入を検討しましたが、受験シーズンでもあり従来通りの開館を望む声が多く、当館の地域制にはそぐわないと判断しました。													

総合評価

内部評価の合計点	85 100点	外部評価の合計点	79.25 100点	総合評価 (A~D)	B(60点以上)
【所見等】					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 3館の中で内部評価との差が一番少ない “目標を超える成果”の受け止め方に違いがあるのか、館長会議等で検討してほしい ○ 南河内図書館は明るい雰囲気があり、声をかけやすく、対応も良い ○ 平成26年度と比較して、改善・改革の成果が見受けられた 民間との共同運営の相乗効果とも感じられる 直営館(幹事館)としての重要かつ多忙な役割をも全う、発揮したことは、十分に評価に値する 更なる邁進を望む 概ね良好に運営されている 					

事業評価シート(様式1)

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価 (図書館協議会の コメント)	大項目の評価
								単年度目 標評価	得点	小計	評価	単年度目 標評価	得点	小計	評価		
I 適正かつ効率的な運営を目指す図書館【配点20点】																	
1 市立図書館のはたすべき役割と理念に基づく図書館運営(配点6点)																	
		1 運営規則に基づいた業務の実施	下野市立図書館運営規則(教育委員会規定第21号)に則り、図書館奉仕に努め、適切な管理運営をいたします。	運営規則について3館共通の認識を深めるため、月1回程度の会議を開催します。	数値	館長会、主任会議共に毎月開催合計12回行いました。	2	A	2	5.5	A(4.8点以上)	B	1.5	4.5	B(3.6点以上)	外部評価小計の合計点数 15.5/20点	
		2 「図書館の自由に関する宣言」に則した運営	「図書館の自由に関する宣言」の趣旨に則した運営ができるよう、職員の研鑽を日常的に行います。	資料と施設を提供する図書館の基本となるこの宣言を深く理解するために研修を行い、日常的に世情の収集に努めます。	記述	事務室内に「図書館の自由に関する宣言」を掲示し、全員の目に触れるようにしております。	2	B	1.5			B	1.5				
		3 計画的な図書館施設整備の検討・運営	老朽化した施設の建て替えや修繕、新たな図書館の設置などを計画的に行うため、図書館整備に関する中・長期的な方針を策定いたします。	老朽化した施設の整備修繕等について、関係部署に提案し実施してまいります。	記述	天井板のずれ、雨漏り、空調機の故障時に幹事館へ連絡し早急に対応していただいた。	2	A	2			B	1.5				
		取組実績	9月9日の大雨による休憩コーナーの雨漏りを10日に直営館へ報告し、翌年2月に修繕を行いました。また、1月の空調機故障についても直営館へ報告し、修繕を行いました。													評価項目(A~D)	
2 市民ニーズや時代に適した図書館運営(配点10点)																	
		1 アンケートの実施	市民のニーズを把握するため、定期的にアンケートを実施し、業務に反映いたします。	利用者アンケートを実施し、図書館運営について検証します。	数値	10月27日~11月9日まで実施しました。配布は100枚、回収率は80%でした。北側が暗いと意見を頂き、夕方や曇りの日にはライトをつけるようにしたところ、閉館間際まで利用する方が増えました。	3	A	3	10	A(8点以上)	B	2.25	8	A(8点以上)	外部評価 ・アンケートの要望などを直ちに実行したことは、きめ細かい対応で良いと思う ・自動販売機の売り上げ等の活用は民間ならではの事で、大いに利用すべきだが、計上額の利用方法が分かると良い ・利用者の増減に対しての人員の配置は妥当である	
		2 経費節減への取組	(ア)独自財源を確保するための方法を検討いたします。	自動販売機の利益を経費の一部にいたします。また、観光協会と協力し「カンピくん」のグッズを販売します。	数値	自動販売機売上70万円を経費に計上し、運営。カンピくんグッズについては買取のため検討中です。	2	A	2			B	1.5				
			(イ)ランニングコストや各業務の見直しを行い経費の節減に努めます。	インターネットでの在架予約を実施することで、予約・貸出冊数の増加をめざします。	数値	今年度予約数は3,629点でした。(前年比120%)	2	A	2			A	2				
		3 効率的な図書館運営	地域のニーズに合った開館時間の設定と人員体制の確保に努めます。	曜日や時間帯別の利用者動向を調査し、効率的な体制を整えます。	数値	利用の多い休館明けの土曜は人員を増やし対応しています。	3	A	3	B	2.25						
		取組実績	カンピくんグッズについては、買い取りのため検討としました。今年度は市政10周年ということで、記念バッジを販売、計18個販売し900円の収入となりました。														
3 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成(配点4点)																	
		1 職員の構成	より質の高い図書館サービスを提供するために、専門性を持った人材を増やします。	司書資格保有率50%以上を維持します。	数値	司書資格保有率85.7% 職員数7名のうち6名が有資格者です。	2	A	2	4	A(3.2点以上)	B	1.5	3	B(2.4点以上)	外部評価 ・出来れば司書保有率100%が望ましい ・職員には常に研鑽の心構えが必要 ・研修に参加し、どのような効果があったかの記述を望む	
		2 人材育成	さまざまな研修に参加することで図書館員としてのスキルアップを図ります。	年間を通じて各種研修会に参加し、個々のスキルアップを図ります。	数値	県立図書館主催研修3回、TRC主催研修4回参加しております。	2	A	2			B	1.5				
		取組実績	12/3中堅職員ステップアップ研修、2/18図書館経営研修、2/25児童サービス研修を県立図書館で、7/24調べる学習講座(高根沢)、10/19選書除籍研修(壬生)、11/9集合研修、1/15障害者サービス研修(大田原)TRC主催の研修に参加しました。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
II 社会教育施設としての図書館【配点36点】																	
1 市民に親しまれる図書館(配点6点)																	
		1 利用者の拡大	より多くの市民に利用される図書館を目指すため、有効登録者数(在勤・在学を含む)の増加を目指します。	ディスプレイを工夫して、独自の雰囲気作りをいたします。各種イベントや広報を通して図書館を広くPRし、在勤・在学を含む有効登録者数の増加に努めます。	数値	新規登録者数は532件、昨年度は557件、対比96%となりました。今後も新規登録者の増加に努めます。図書館のPRとしては、石橋地区のミニコミ誌に図書館情報を掲載しました。	3	B	2.25	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 新規登録者の増加とはならなかったが、ほぼ同数であり、努力が伺える ミニコミ誌でのPRはとても良い スタッフの対応は当たり前だが大切なこと。もう少し明るいという方もいる 意見交換会をしてはどうか 	外部評価小計 の合計点数
		2 職員の市民対応	市民に、より親しまれ信頼される職員を目指し、市民対応についての満足度を向上させます。	◎ 利用者へのあいさつや声掛け、丁寧な対応により、サービス向上を図ります。 ◎ 利用者アンケートから職員の言葉遣い、態度、服装等の接遇に対する満足度を調査いたします。	記述	アンケートではスタッフの対応がとても良いとの意見をいただきました。	3	A	3			B	2.25				
取組実績		アンケートでの職員の対応については満足度が89%でした。今後も利用者への丁寧な対応やサービスの向上に努めてまいります。															
2 市民にとって魅力的な資料の収集(配点5点)																	
		1 資料の収集	市民のニーズに応えるため、利用頻度の高い資料と所蔵しておくべき資料とのバランスを考慮しつつ、各館の運営方針に応じた資料収集を行います。	2館と協力して、下野市立図書館資料取扱要綱に基づいた選書を行います。	記述	下野市立図書館資料取扱要綱に基づき選書をしてまいりました。また、	3	B	2.25	4.25	A(4点以上)	B	2.25	3.75	B(3点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館にとって資料収集は命綱であるため、予算の獲得を望む 雑誌は情報入手の手段であるので、一誌でも多くの購入は良い 	評価項目 (A~D)
		2 雑誌・新聞の収集	公立図書館として最低限必要な保存機能を考慮し、バランスのとれた収集・保存を実施します。	各図書館における雑誌・新聞の収集・保存の在り方を引き続き検討するために、前年度アンケートを基に収集・保存いたします。	記述	雑誌の収集について、3館で協議し、収集してまいりました。休刊になった1雑誌についても協議、検討をし、同様の雑誌を購入いたしました。	2	A	2			B	1.5				
取組実績		選書については2館と協力して選書を行いました。また、幹事館に選書リストを提出してまいりました。また、図書だけではなく、新聞記事に掲載されたパンフレットを収集しました。															
3 市民の要望に応じた資料提供(配点12点)																	
		1 資料貸出サービス	市民一人当たりの貸出点数の拡大を図ります。	2015年度末までに昨年度より0.5%増の13万7300千冊の貸出を目指します。	数値	貸出数が134,200冊と目標数値の97%と下回りました。今後はより一層拡大を図ってまいります。	4	C	2	9	B(7.2点以上)	C	2	9	B(7.2点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 貸出数の目標設定が高すぎたのではないか 達成しなかった原因を考察し、28年度に活かしてほしい リクエスト増加は利用数の増になるので評価する 延滞者への自宅訪問は大変だったと思うが、行き過ぎのないようにすること 長期延滞者については、貸出停止期間があってもよい 	
		2 リクエストサービス	市民の求める資料を確実に提供するため、市民に対する図書のリクエスト制度(栃木県内図書館相互貸借)や市内図書館の資料予約制度の周知を行います。	図書のリクエスト制度や予約制度についての周知を実施します。	数値	貸出券発行の際に説明をし周知いたしました。予約件数は昨年度に比べ120%増加の3,623件でした。	4	A	4			A	4				
		3 延滞資料への対応	貸出資料に占める延滞資料の割合を引き下げます。	現行の督促システムを継続して行うとともに、長期延滞者を減少させるため、貸出停止の在り方についてさらに検討を進めます。	記述	長期延滞者に対して督促状を送付または自宅訪問をしました。	4	B	3			B	3				
取組実績		貸出券発行の際に予約制度についての説明を行ってきたことで周知され、昨年度に比べ120%の増加となりました。															

27
/36点

B(21.6点
以上)

4 市民が求める情報の提供(配点7点)															
1	レファレンス・サービスの利用促進	潜在的ニーズの掘り起こしや、利用者のレファレンスに対する認知度が上がるような改善に取り組み、利用者にとってより身近なレファレンスサービスを目指します。	レファレンス事例を活用したPR方法などを検討・実施します。	記述	クイックレファレンスの多い季節ものなどの資料を展示しました。また、貸出券発行の際の案内も行っていました。	3	A	3	7	A(5.6点以上)	B	2.25	5.25	B(4.2点以上)	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス事例の共有、保存はきめ細かくて有意義な事である 職場体験は大いに受け入れ、利用者拡大に繋がることを望む
2	レファレンス資料とツールの充実	質問内容の多様化・専門化に対応できるように、電子媒体等も含め多種多様なレファレンス資料の充実に努めます。	日常的にレファレンス事例を収集し、必要な資料の充実に努めます。	数値	レファレンス事例をノートに記載し共有を図っております。今年度のレファレンス件数は1,584件でした。(昨年比109%)	2	A	2			B	1.5			
3	利用者支援(図書館入門講座)	資料の探し方や予約の仕方などを案内する図書館入門講座をさらに充実させ、市民の図書館利用を支援します。	職場体験やインターンシップ、図書館見学などを積極的に受け入れます。	数値	職場体験中学校1回、高校1回、特別支援学校の教諭1回、図書館見学は1回でした。	2	A	2			B	1.5			
取組実績		職場体験の受入は石橋中学校と石橋高校、教諭の職場体験では国分寺特別支援学校、図書館見学は国分寺東小学校の受け入れをおこないました。レファレンス事例については、ノートに記載する事で情報の共有をいたしております。													
5 生涯学習の支援(配点6点)															
1	図書館を拠点とした市民活動の支援	市民が参加する活動に対して、広く施設の活用を呼びかけます。	市民の自主サークルに対して、積極的にPRいたします。	記述	学校の夏季休業期間中に原爆パネル展を行いました。	3	A	3	6	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 展示スペースが更に活用されることを望む 古典文学講座を継続して6回やっていることは大変良い 長期続いている講座等は継続を望む 利用者が多く参加するような魅力ある講座を望む
2	講座・講演会による学習の提供	魅力的なテーマの講演会や講座などを開催し、市民の学習支援を行います。	学習の提供と併せて、図書資料の提供を行い、市民の自主的な学習の支援に努めます。	数値	古典文学講座6回、下野学教養講座2回、下野学歴史講座2回、著者を囲む会1回を行いました。	3	A	3			B	2.25			
取組実績		古典文学講座は平成18年から行っており、人気のある講座となっております。毎月20名ほどの受講者がおりました。今後も学習支援の一環としての講座を行ってまいります。													

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
Ⅲ	誰もが利用できる図書館【配点16点】																
	1 子どもの読書環境の整備支援(配点6点)																
	1	「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」	「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」を推進するために関連団体や部署と連携して計画的に子どもの読書活動の振興を図ります。	計画に基づく各種事業を実施いたします。	記述	学校の長期休業期間中、ボランティア主催本のアルバムや図書館ビンゴ、読書スタンプラリーの他、ぬいぐるみのおとまり会を12月に行いました	2	A	2	6	A(4.8点以上)	B	1.5	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から読書習慣を身につけることは大切なので、子どもたちが喜んで参加するような企画を望む おはなし会は時期により参加人数の変動があるが、長く続けることに意義があるので、これからも続けることを望む カウンター前への展示はとても目立つのと、すぐ手に取り見られるのが良い 	外部評価小計 の合計点数 12 /16点
	2	おはなし会	子どものころから読書の習慣を身につけるよう、おはなし会などを開催します。	各館で定例のおはなし会やお楽しみ会を開催いたします。又、広報やホームページに掲載し参加を呼びかけます。	数値	おはなし会は月2回、乳幼児向けおはなし会は月1回の開催。その他、工作会を月1回行っており、広報やチラシなどで参加を呼びかけてまいりました。	2	A	2			B	1.5				
	3	「みんなで読もう、子どもの本」	子どもと本の出会いの機会を大切にするために、子どもの心を育む本や、知識欲にこたえる図書を紹介します。	◎ 図書館員が選んだ子どもの本を、広報や図書館だよりを中心に紹介します。 ◎ 各図書館にてコーナー展示を行います。	記述	広報、図書館だよりには毎月スタッフが選書した本の紹介をしております。また、カウンターで毎月特設展示を行いました。	2	A	2			B	1.5				
	取組実績		学校への団体貸出しの他、児童クラブや保育園への団体貸出しを行いました。昨年度南河内図書館で行ったぬいぐるみのおとまり会を今年度は3館で行いました。石橋図書館は12月23、24日に開催し、参加者数は16名でした。													評価項目 (A~D)	
	2 学校・学校図書館との連携(配点4点)																
	1	学校図書館支援	授業における図書の活用や、児童・生徒の図書館利用促進を目的として学校図書室の支援及び連携を強化します。	各学級単位の団体貸出を実施します。学校図書館担当者との意見交換会を開催します。	数値	古山小124冊、石橋小134冊、石橋北小127冊の利用。学校図書館担当者の意見交換会は7月と10月の2回開催。	2	B	1.5	3.5	A(3.2点以上)	B	1.5	3	B(2.4点以上)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校への貸出回数を知りたい 学校図書館担当者との意見交換会を増やしてほしい 職場体験は図書館を知る重要な行事であるので、継続を望む 	B(9.6点以上)
	2	職場体験	学校のキャリア教育の支援を行うため、各学校の職場体験授業を受け入れます。	学校からの要望を受けて実施いたします。	数値	6月に石橋中学校の職場体験、国分寺特別支援学校教諭の受入を8月に実施。計2回。	2	A	2			B	1.5				
	取組実績		学校への団体貸出のほか、児童館への貸出も行いました。職場体験では、例年同様、中学校と高校の他、国分寺特別支援学校の教諭から申し出がありましたので8月19、20日の2日間受入を実施しました。														
	3 高齢者や障がい者の利用促進(配点6点)																
	1	高齢者サービス	高齢者が利用しやすい環境作りとサービスの充実に努めます。	大活字本の収集に努め広く周知します。	数値	平成27年度は5タイトル、9冊を購入いたしました。	3	A	3	6	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> これからも高齢者の利用本(大活字本)の購入を順次増やしてほしい 大活字本の貸出状況が分かるとう良い 点字絵本の受け入れを望む 	
	2	障がい者サービス	誰でも同じように図書館を利用できるようなサービスを充実させるとともに、市民へのPRに努めます。	市民に向けて各サービスのPRを行い、利用者の増加に努めます。	記述	広報やホームページの他、石橋地区のミニコミ誌に図書館の特集記事を掲載しました。	3	A	3			B	2.25				
	取組実績		大活字本の購入のほか、資料を選びやすい様、書架移動を行いました。市民に向けてのサービスとしては、石橋地区のミニコミ誌に3館の紹介を記事にし、PRに努めました。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
IV	市民とともに歩む図書館【配点13点】																
	1 図書館に対する参画の推進(配点7点)																
		1 図書館協議会への諮問	図書館協議会を設置して図書館運営への市民参画を促進します。	図書館評価に伴う意見集約と外部評価を実施します。	記述	図書館外部評価を実施いたしました。	3	A	3	6	A(5.6点以上)	B	2.25	5.25	B(4.2点以上)	外部評価小計の合計点数	
		2 市民との協働事業の企画・運営	事業の企画やブックリストの作成などに、市民と協働で取り組みます。	ボランティアと協働で、おすすめ本のブックリスト等を作成し、各図書館や関連施設に配布します。	記述	低学年向けブックリストを作成し、新一年生に向け学校経由で配布しました。	4	B	3			B	3				9.75/13点
		取組実績 低学年向けブックリストを新一年生に配布をした際、新規登録申請書も同時に配布いたしました。															
	2 読書活動に関わる市民に対する支援(配点6点)																
		1 地域団体等への読書支援	読書に関わる各種団体に、資料や情報、施設の提供を行い、その活動が一層活発になるよう支援します。	資料や施設の提供を行います。	数値	読書会計10回、昔話大学やおはなし会、音訳ボランティア、点訳ボランティアに施設利用の提供をいたしました。	3	A	3	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	評価項目(A~D)	
		2 ボランティアへの援助・育成	ボランティアの養成と活動支援を実施します。	ボランティアの養成講座及びレベルアップ講座を開催いたします。	記述	石橋おはなし会主催の養成講座を10月に実施いたしました。	3	B	2.25			B	2.25			B(7.8点以上)	
		取組実績 読書会の他昔話大学、音訳ボランティア、点訳ボランティアの施設利用がありました。ボランティア養成講座については石橋おはなし会主催の他、県や県南地域でのボランティア講座のお知らせをボランティア団体に周知してまいりました。															

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
V	公共施設として果たすべき機能を有した図書館【配点15点】																
	1 図書館のPR(配点6点)																
		1 図書館サービスの市民へのPR	図書館サービスを広く宣伝し利用者の拡大につなげます。	生涯学習情報誌(エール)等に図書館サービスの紹介記事の掲載を継続して行います。また、図書館のホームページを有効に活用して、図書館のPRを行います。	記述	図書館のページを拡大して頂き、幅広い図書館事業のPRをした結果、来年度行う事業の問い合わせが3件ありました。また、ホームページに掲載した事業の県外から申し込みが1件ありました。	3	A	3	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	外部評価小計の合計点数	
		2 図書館サービスの行政内部へのPR	市職員の業務等に、図書館の資料と機能を一層活用してもらえるよう、様々な機会を通じて行政内部に向けて図書館の有効性をPRします。	庁内に対して、レファレンスのPRを行います。	記述	石橋町例規集の問い合わせがあり、資料提供をいたしました	3	B	2.25			B	2.25			11.25/15点	
		取組実績 生涯学習情報誌の講座記載が増えたことで問い合わせが多くなり、図書館のPRとなりました。															
	2 快適で、居心地の良い施設環境(配点6点)																
		1 危機管理・リスクマネジメント	図書館利用で発生するトラブルに対し、適切な対応ができるように「危機管理マニュアル」の活用を推進し、職員の危機管理意識を高めます。	危機管理マニュアルを徹底させるため、研修を行います。	数値	防災訓練を2回行いました。実際に起きた地震では安全確認や利用者への声掛けがスムーズに行われました。	3	A	3	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	評価項目(A~D)	
		2 快適で、居心地の良い施設環境	建物の経年劣化に対応し、維持管理に必要かつ適切な修繕を行います。	修繕が必要となった場合は幹事館である南河内館に随時相談します。	記述	休憩コーナーの雨漏り、空調冷温水機の故障を幹事館に相談し、修繕を行いました。	3	B	2.25			B	2.25			B(9点以上)	
		取組実績 自主避難訓練1回、消防署立会いの避難を1回行うことで危機管理の意識向上に努めました。また、9月の雨漏り、1月の空調冷温水機の故障の際は幹事館である南河内館へ連絡いたしました。															

3 市民にとって使いやすい施設(配点3点)														
1 開館日・開館時間等の改善	図書館利用の利便性向上とともに、費用対効果の観点から適正な開館時間の検討を行います。	適正な開館時間等について検討を行っていきます。	記述	3館の利用状況や費用対効果を考え検討してまいります。	3	B	2.25	2.25	B(1.8点以上)	B	2.25	2.25	B(1.8点以上)	・利便性を活かした運営を望む
取組実績		アンケート調査では95%の方が満足・やや満足という結果となっております。アンケート結果や利用状況、費用対効果を考えて検討してまいります。												

総合評価

内部評価の合計点	90.5 100点	外部評価の合計点	75.5 100点	総合評価 (A~D)	B(60点以上)
<p>【所見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている ○ 新規登録者数は増加とはならなかったが、昨年度とほぼ同数であり、努力が伺える ○ ミニコミ誌での図書館情報のPRはとても良い ○ 石橋図書館は静かな雰囲気の良いのだが、少し堅苦しく感じる ○ 概ね良好に運営されている 経費節減の項にあった“自動販売機の売り上げ”の一部で、雑誌の購入などは不可能なのか 					

事業評価シート（様式1）

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 27年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価 (図書館協議会の コメント)	大項目の評価
								単年度目 標評価	得点	小計	評価	単年度目 標評価	得点	小計	評価		
I 適正かつ効率的な運営を目指す図書館【配点20点】																	
1 市立図書館のはたすべき役割と理念に基づく図書館運営（配点6点）																	
		1 運営規則に基づいた業務の実施	下野市立図書館運営規則(教育委員会規定第21号)に則り、図書館奉仕に努め、適切な管理運営をいたします。	運営規則について3館共通の認識を深めるため、月1回程度の会議を開催します。	記述	毎月会議を開催いたしました。(目標水準を超える取組・以下“加点”と記入)積極的に課題を提示し、三館共通の運営方法を確認いたしました。1例として、前年までできなかったネットや電話による在架予約、延長・再貸出の変更を提案しました。方法の変更が実施できたことで、予約数の増加や貸出数の増加につながり、利用者の利便性を高めることができました。	2	A	2			A	2			外部評価小計 の合計点数 15.5 /20点	
		2 「図書館の自由に関する宣言」に則した運営	「図書館の自由に関する宣言」の趣旨に則した運営ができるよう、職員の研鑽を日常的に行います。	資料と施設を提供する図書館の基本となるこの宣言を深く理解するために研修を行い、日常的に世情の収集に努めます。	記述	常にひとりひとりが「宣言」を携帯し、意識を高めました。(加点)宣言を館内に掲示し、そのほかに読み合わせや事例研究を行いました。	2	A	2	6	A(4.8 点以上)	B	1.5	5	A(4.8 点以上)		・事例研究はきめ細かい手立てが良いが、具体的に事例研究とはどのようなことか ・老朽化に伴い計画的な修繕が望まれる
		3 計画的な図書館施設整備の検討・運営	老朽化した施設の建て替えや修繕、新たな図書館の設置などを計画的に行うため、図書館整備に関する中・長期的な方針を策定いたします。	老朽化した施設の整備修繕等について、関係部署に提案し実施してまいります。	記述	(加点)冷房設備改修工事が2年計画の2年目であることを踏まえ、網戸の設置を提案いたしました。直営館と相談を重ね、閲覧室と児童室のすべての窓に網戸を設置するにいたしました。また、計画的な大修繕以外にも予防として、老朽化に伴う壁紙のはがれやカーテンフックの破損をすべてチェックし、職員が修理しました。小さいけれどもきれいな図書館ですね、と声をかけていただくなどイメージアップにも繋がっております。	2	A	2			B	1.5				
取組実績		「図書館の自由に関する宣言」を、2013年から継続して図書館内に掲示しております。特に、昼の休憩時間を使って読み合わせをしたり、「宣言」の背景を研修し、さらに個々が収集した情報について、全員がレファレンスに活かせるようカウンターにノートを置いて自由に閲覧しております。収集した情報を活かすような工夫をしている部分が、目標水準を超える取組の加点部分となります。													評価項目 (A~D)		
2 市民ニーズや時代に適した図書館運営（配点10点）																	
		1 アンケートの実施	市民のニーズを把握するため、定期的にアンケートを実施し、業務に反映いたします。	利用者アンケートを実施し、図書館運営について検証します。	記述	10月に実施いたしました。(加点)要望のあった「中学生の利用態度」改善のため利用席を「席札制」にした結果、利用者と職員の距離が近づきました。	3	A	3			B	2.25			B(12点 以上)	
		2 経費節減への取組	(ア) 独自財源を確保するための方法を検討いたします。	自動販売機の利益を経費の一部にいたします。	記述	利益を計上いたしました。(加点)消耗品費として紙や事務用品の購入に充てました。特に幼児向け工作に使用したことで、お子さまや保護者から好評をいただきました。	2	A	2			B	1.5				・自動販売機の利益額を示してほしい
			(イ) ランニングコストや各業務の見直しを行い経費の節減に努めます。	インターネットによる在架予約を実施するなど、貸出や図書館利用増加を目指した業務の見直しをいたします。	記述	インターネット在架予約を実施し5,072件の予約を受けました。(加点)所蔵している本に予約をかけられることで、予約数・利用数の増加につながっただけでなく、事前に資料の準備ができるなど、効率的な働き方に繋がりました。	2	A	2	10	A(8点 以上)	B	1.5	7.5	B(6点 以上)		

3 効率的な図書館運営	地域のニーズに合った開館時間の設定と人員体制の確保に努めます。	曜日や時間帯別の利用者動向を調査し、効率的な体制を整えます。	記述	月初に前年度の利用者動向を提示し、備えました。(加点)週末の人員を増やしたり、資料回送日の午前中に人員を増員するなどして体制を整え、利用者の待ち時間を減らした結果さらに関連資料の提示ができるなど、サービスの充実を図ることができました。	3	A	3				B	2.25			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の動向に沿った人員配置は良い取組である ・きめ細かい対応でサービス充実は良い方向性である ・利用者の待ち時間が減らせるのは良い事である ・職員の意欲が感じられる
取組実績	閲覧席を席札制にした結果、中学生が集中して勉強するようになりさらに、挨拶をするようになったことが目標水準を超える取組となります。カウンターで席札を手渡す仕組みにしたことが結果につなりました。														
3 図書館員としてふさわしい人材の配置と育成 (配点4点)															
1 職員の構成	より質の高い図書館サービスを提供するために、専門性を持った人材を増やします。	司書資格保有率50%以上を維持します。また、地域情報提供のため、地元在住の経験者を雇用いたします。	数値	6人のうち4人が司書資格を保有。保有率67%です。(加点)協定書に示してあるように継続勤務を希望した臨時職員を無資格ながら当年も社員として登用しております。	2	A	2				B	1.5			<ul style="list-style-type: none"> ・出来れば全員が有資格者が望ましい ・臨時職員が無資格ながら地元知識等に優れているのは良い
2 人材育成	さまざまな研修に参加することで図書館員としてのスキルアップを図ります。	年間を通じて各種研修会に参加し、個々のスキルアップを図ります。	記述	県立図書館主催図書館研修等に参加しております。(加点)無資格の社員についても、専門知識獲得のため研修に参加させております。結果、学校貸出の児童書の選定や講座の際に展示する資料の選定、読み聞かせ、問合せ資料の提示など積極的に行っており講座の担当にもついております。	2	A	2	4	A (3.2点以上)		B	1.5	3	B (2.4点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して良い指導をしている ・利用者は職員の誰が有資格者なのかは関係ない。有資格者はもちろんのこと、日々の研鑽を望む
取組実績	司書資格保有率50%を超えており、目標を達成しております。目標水準を超える取組としては、地域資料や地域の歴史に詳しい直営時代の臨時職員を無資格ながら当年も継続して採用し、社員として雇用している点が挙げられます。地元知識を、司書資格には変えられない、保持していくべき専門性として重視いたしました。臨時職員としては受けることができなかった研修にも参加させ、図書館員としての専門性も高めております。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
II 社会教育施設としての図書館【配点36点】																	
1 市民に親しまれる図書館 (配点6点)																	
		1 利用者の拡大	より多くの市民に利用される図書館を目指すため、有効登録者数(在勤・在学を含む)の増加を目指します。	ディスプレイを工夫して、独自の雰囲気作りをいたします。各種イベントや広報を通して図書館を広くPRし、在勤・在学を含む有効登録者数の増加に努めます。	記述	新規登録者数500人。(加点)埋もれがちな蔵書を中心に、一般書・児童書を新たに入り口付近に特設。ディスプレイも四季を感じるよう趣向を凝らしており多忙な返却利用者が足を停めて借りていくなど、好評です。	3	A	3	6	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	外部評価小計の合計点数	
		2 職員の市民対応	市民に、より親しまれ信頼される職員を目指し、市民対応についての満足度を向上させます。	◎利用者へのあいさつや声掛け、丁寧な対応により、サービス向上を図ります。 ◎利用者アンケートから職員の言葉遣い、態度、服装等の接客に対する満足度を調査いたします。	記述	(加点)利用者アンケートでは、全体の81%がとても満足・満足で、不満は0%でした。さらに、アンケート以外に内部でチェックしあい、また、笑顔で接客するようカウンターに鏡を置きました。	3	A	3			B	2.25				◎利用者への接客が良いが、もう少し笑顔が見えるといいと思うこともある
取組実績		目標水準を超える取組としては、市民の目線から見たサービスの向上を考えて、図書館ボランティアと月1回会議を実施し、図書館を使う人としての意見を伺っている点が挙げられます。ご意見を受けて、改善できる点は改善し、難しい部分は形を変えて希望に添えるよう努力いたしました。特に、手荷物を置きたい時や、膝をついて本を探す時に敷くマットの導入は、利用者にも好評です。															
2 市民にとって魅力的な資料の収集 (配点5点)																	
		1 資料の収集	市民のニーズに応えるため、利用頻度の高い資料と所蔵しておくべき資料とのバランスを考慮しつつ、各館の運営方針に応じた資料収集を行います。	2館と協力して、下野市立図書館資料取扱要綱に基づいた選書を行います。	記述	選書リストを南河内館に提示し、購入いたしました。(加点)医療関係書籍の充実に加え、良い絵本として長年読み継がれてきたもので未所蔵となっている絵本についても新規購入いたしました。	3	A	3	5	A(4点以上)	B	2.25	3.75	B(3点以上)	評価項目(A~D)	
		2 雑誌・新聞の収集	公立図書館として最低限必要な保存機能を考慮し、バランスのとれた収集・保存を実施します。	各図書館における雑誌・新聞の収集・保存の在り方を引き続き検討するために、前年度アンケートを基に収集・保存いたします。	記述	アンケートにおいて、雑誌新聞について変更の要望がなかったため前年度同様の収集保存を実施いたしました。(加点)図書館周辺の飲食店に関する問い合わせが多いこともあり、地元情報誌の宇都宮小山周辺版を取り寄せし、毎月無償で提供しております。需要が高く、50冊のほとんどが半月ほどでなくなっております。	2	A	2			B	1.5				・地元情報誌については、きめ細かい対応で良いと思う
取組実績		目標水準を超える取組としては、資料の数が3館中最も少ないといわれている部分を補うため、積極的に発行10年以上前のよい絵本についても購入をすすめ、良書の充実に努めている点があげられます。学校貸出の際も、教科書に載っている良い絵本は買い足して提供しております。															
3 市民の要望に応じた資料提供(配点12点)																	
		1 資料貸出サービス	市民一人当たりの貸出点数の拡大を図ります。	ニーズに合った資料提供を行いつつ、総貸出数131,750冊をめざします。	数値	猛暑時期の1か月間に渡る冷房機器の故障、空調機器の入れ替えに伴う臨時休館により、貸出冊数131,010冊となりました。(加点)平常時は前年度比較100%~110%でございました。	4	A	4	12	A(9.6点以上)	B	3	9	B(7.2点以上)	外部評価小計の合計点数	
		2 リクエストサービス	市民の求める資料を確実に提供するため、市民に対する図書のリクエスト制度(栃木県内図書館相互貸借)や市内図書館の資料予約制度の周知を行います。	図書のリクエスト制度や予約制度についての周知を実施します。	記述	制度について広報いたしました。(加点)常に窓口にて利用者のご意見を拾い、リクエスト用紙への記入を提案し、選書やリクエスト購入に反映いたしました。リクエスト・予約数は5,072件で117%でした。	4	A	4			B	3				・猛暑の時期の冷房機器の故障など、利用者が多い時の休館はいかがなものか
取組実績		目標水準を超える取組としては、資料の数が3館中最も少ないといわれている部分を補うため、積極的に発行10年以上前のよい絵本についても購入をすすめ、良書の充実に努めている点があげられます。学校貸出の際も、教科書に載っている良い絵本は買い足して提供しております。															
27.75 / 36点																	

3	延滞資料への対応	貸出資料に占める延滞資料の割合を引き下げます。	現行の督促システムを継続して行うとともに、長期延滞者を減少させるため、貸出停止の在り方についてさらに検討を進めます。	記述	(加点)督促をこまめに実施するとともに、長期延滞を減らすための予防策を検討しました。利用者が短いサイクルで図書館に来なくなるような展示や特設、声掛けを実施いたしました。次のステップとして、定期的に来館した場合のポイント付与を企画しました。平成28年度5月から実施しておりますが、常に新たな予防策を職員全員で企画し取り組んでおります。	4	A	4			B	3				<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントで利用者に図書館へ足を運ばせることより、資料提供で市民の要望に応えることを望む ・延滞者への督促と、長期延滞者への対処を強く検討してほしいかがか
取組実績		不測の事態にあっても昨年並みにご利用いただける工夫をしたことが、目標水準を超える取組として挙げられます。冷房機器の老朽化による故障や空調機器の入れ替えによる休館など、施設的に通常運営が困難な年でしたが、資料の提供について不便を軽減するべく工夫を凝らし、危惧していた図書館離れを防ぐことができました。貸出冊数をみても昨年度マイナス2%に抑えることができました。指定管理となりましてからは128%の伸び率でございます。														
4 市民が求める情報の提供 (配点7点)																
1	レファレンス・サービスの利用促進	潜在的ニーズの掘り起こしや、利用者のレファレンスに対する認知度が上がるような改善に取り組み、利用者にとってより身近なレファレンスサービスを目指します。	レファレンス事例を活用したPR方法などを検討・実施します。	記述	気軽に質問ができるような体制を整えて実施いたしました。(加点)所蔵資料以外の研究資料(大学図書館所蔵資料)なども対象として案内いたしました。レファレンス件数203件です。	3	A	3			B	2.25				<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターでどのようなPRがあったのか分かつと良い ・図書館について色々を興味をもつことは持続的な図書館の利用促進になるので続けてほしい
2	レファレンス資料とツールの充実	質問内容の多様化・専門化に対応できるように、電子媒体等も含め多種多様なレファレンス資料の充実に努めます。	日常的にレファレンス事例を収集し、必要な資料の充実に努めます。	記述	レファレンス事例を集めて研究し、必要な資料を抽出しております。(加点)購入が不可能な絶版の雑誌総覧など、多岐にわたるレファレンス資料について、県内外の所蔵状態も探っております。	2	A	2	7	A (5.6点以上)	B	1.5	5.25	B (4.2点以上)		
3	利用者支援(図書館入門講座)	資料の探し方や予約の仕方などを案内する図書館入門講座をさらに充実させ、市民の図書館利用を支援します。	図書館探検などを実施して、図書館利用のきっかけづくりに努めます。	記述	図書館探検を実施して利用の契機といたしました。(加点)保護者にも好評だったため定期的に開催し、利用やマナーの向上も促しております。	2	A	2			B	1.5				
取組実績		目標水準を超える取組として、所蔵していない資料についてもレファレンスを受け付け、公共図書館以外の大学図書館や専門図書館にも所蔵を問い合わせるなどして、レファレンスに応えるよう努力し、図書館間以外の手続きについては手順をお教えして対応いたしました。														
5 生涯学習の支援(配点6点)																
1	図書館を拠点とした市民活動の支援	市民が参加する活動に対して、広く施設の活用を呼びかけます。	市民の自主サークル活動を積極的にPRし、支援いたします。	記述	古文書の会や読書会、絵本研究会についてその活動に協力しております。(加点)チラシの掲示以外にも、講座等開催時には職員を配置いたしました。	3	A	3			B	2.25				<ul style="list-style-type: none"> ・住民の活動を支援することにより、図書館も成長するので持続を願う ・各講座ともPRしているが、特に食育講座は多くの方の参加を望む ・色々な試みをたくさん行う事により図書館の可能性を広げている
2	講座・講演会による学習の提供	魅力的なテーマの講演会や講座などを開催し、市民の学習支援を行います。	学習の提供と併せて、図書資料の提供を行い、市民の自主的な学習の支援に努めます。	記述	食育講座、箏曲古典講座、図書館講座(仏像)、文学講座(グリム童話)などを開催いたしました。(加点)講座ごとに図書館の蔵書を提示して貸し出したことで、普段利用されていない分野の資料も活かすことができました。また、自治医科大学の学生による講座を実施し、これまで行ってきた資料の掲示のみならず、さらに交流を含めた形ある連携を実現し、新たな分野の学習に対する契機といたしました。	3	A	3	6	A (4.8点以上)	A	3	5.25	A (4.8点以上)		
取組実績		目標水準を超える取組として、講座を開催するだけでなく合わせて知っていただきたい情報を提示したことが挙げられます。箏曲古典講座や仏像講座開催の際は、それぞれの歴史から学べる図書資料や音楽資料、美術資料まで揃えて市民の自学自習に対する支援や、興味関心を引き出すきっかけづくりをいたしました。また、自治医科大学の学生による講座を実施し、これまで行ってきた資料の掲示のみならず、交流を含めた形ある連携を実現いたしました。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
Ⅲ	誰もが利用できる図書館【配点16点】																
	1 子どもの読書環境の整備支援(配点6点)																
		「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」	「下野市子どもの読書活動推進計画(第二次)」を推進するために関連団体や部署と連携して計画的に子どもの読書活動の振興を図ります。	計画に基づく各種事業を実施いたします。	記述	計画に基づいた活動を実施いたしました。(加点)カウンターにて、本をよく読み込んで答える「なぞなぞ絵本」の配布を実施し、読書の楽しさと読んだことのない本に対する興味関心を引き出す工夫をいたしました。	2	A	2			B	1.5			外部評価小計 の合計点数 12 /16点	
		2 おはなし会	子どものころから読書の習慣を身につけるよう、おはなし会などを開催します。	各館で定例のおはなし会やお楽しみ会を開催いたします。又、広報やホームページに掲載し参加を呼びかけます。	記述	おはなし会やお楽しみ会を実施いたしました。広報や館内の掲示、学校や幼保へのチラシ配布を実施し、広く参加を呼びかけました。(加点)参加者のフォローも徹底しました。工作会においても、使用した本を展示し、参加した親子が図書館や読書に興味を持つよう工夫いたしました。	2	A	2	6	A(4.8 点以上)	B	1.5	4.5	B (3.6 点以上)		
		3 「みんなで読もう、子どもの本」	子どもと本の出会いの機会を大切にするために、子どもの心を育む本や、知識欲にこたえる図書を紹介します。	◎ 図書館員が選んだ子どもの本を、広報や図書館だよりを中心に紹介します。 ◎ 各図書館にてコーナー展示を行います。	記述	子どもの本について紹介し、コーナー展示を行いました。(加点)おすすめ図書ガイドの完成に伴い、ガイドで紹介した本をクイズ形式にしたものを配布しております。クイズに答えようとする子どもたちに、よく読まれております。	2	A	2			B	1.5				
		取組実績	子どもの読書推進を形式だけにとどめないために、子どもの本を選定して冊子になったものを実際に手に取ってもらえるように工夫を加え、積極的な働きかけを実施したことが、目標水準を超える取組となります。クイズ形式にしたなぞなぞ絵本は、おさまにも保護者にも喜ばれており、次の配本を待っている方がたくさんおられます。さらに子どもまつりの「なぞなぞさかなまつり」にも使用しております。												評価項目 (A~D)		
	2 学校・学校図書館との連携(配点4点)																
		1 学校図書館支援	授業における図書の活用や、児童・生徒の図書館利用促進を目的として学校図書室の支援及び連携を強化します。	引き続き、各学級単位の団体貸出を実施します。学校図書館担当者との意見交換会を開催します。	記述	今年度も団体貸出を実施いたしました。下野市立図書館・学校図書館担当者意見交換会を2回開催いたしました。(加点)会で出された提案を整理し、要望に応えるよう努力いたしました。一例としては、学校の授業に合わせた資料を職員が選定して提供いたしました。	2	A	2	4	A(3.2 点以上)	B	1.5	3	B(2.4 点以上)	B(9.6 点以上)	
		2 職場体験	学校のキャリア教育の支援を行うため、各学校の職場体験授業を受け入れます。	学校からの要望を受けて実施いたします。	記述	国分寺中学校、小山北桜高校、桑中学校から要望があり3校とも受け入れました。(加点)小山市の生徒も体験中利用者カードを作成し、広域利用者となっております。	2	A	2			B	1.5				
		取組実績	指定管理初年度から学校図書館支援として実施している団体貸出以外にも、学年からの突然の要望に応じて本を選定し、配達していることが目標水準を超える取組となります。3年生と4年生が要望する資料の種類が同じであった場合も、現場で分けていただくように冊数を揃えて提供いたしました。さらに幼稚園保育園に対しても、チラシを配布して資料の紹介をしております。														
	3 高齢者や障がい者の利用促進(配点6点)																
		1 高齢者サービス	高齢者が利用しやすい環境作りとサービスの充実に努めます。	大活字本や視聴覚機器を広く周知します。	記述	大活字本を収集して提供いたしました。拡大鏡や筆談器を紹介し、利用していただきました。(加点)周知するだけでなく、実際に利用しやすい場所に配置するなど工夫し、特に大活字本は1階に設置して手に取りやすい状態にいたしました。	3	A	3	6	A(4.8 点以上)	B	2.25	4.5	B (3.6 点以上)	・大活字本等の利用促進のPRを希望する ・高齢者や身障者の利用がスムーズに出来るように配慮されている	

2 障がい者サービス	誰でも同じように図書館を利用できるようなサービスを充実させるとともに、市民へのPRに努めます。	市民に向けて各サービスのPRを行い、利用者の増加に努めます。	記述	各種サービスをPRいたしました。(加点)車いすで利用できるスペースに、人気本を置くなどして、障がいをお持ちの方にも一般書を利用していただけよう工夫いたしました。	3	A	3				B	2.25		上)	・点字絵本の受け入れを望む
取組実績	目標水準を超える取組として、サービスの周知以外にも、実際に来館された方が2階の一般書を1階で利用できるように人気本やおすすめ本を玄関周りに集めて提供していることが挙げられます。季節ごとに内容を替えており、よく利用されております。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目		
IV 市民とともに歩む図書館【配点13点】																	
1 図書館に対する参画の推進(配点7点)																	
		1 図書館協議会への諮問	図書館協議会を設置して図書館運営への市民参画を促進します。	引き続き、図書館評価に伴う意見集約と外部評価を実施します。	記述	意見集約と外部評価を実施いたしました。日常的な会話からも、図書館運営に必要なご意見を集約いたしました。	3	B	2.25			B	2.25		外部評価小計 の合計点数	9.75 /13点	
		2 市民との協働事業の企画・運営	事業の企画やブックリストの作成などに、市民と協働で取り組みます。	ボランティアと協働で、おすすめ本のブックリスト等を作成し、各図書館や関連施設に配布します。	記述	ブックリストを作成し、関係施設に配布いたしました。(加点)ブックリストの完成に伴いリストで紹介した本をクイズ形式にして配布しております。また、リストを紹介する際には、ボランティア団体を紹介しております。	4	A	4	6.25	A(5.6 点以上)	B	3	5.25			B (4.2 点以上)
		取組実績	リストの作成に留まらず、作成に協働したボランティア団体の紹介と完成したリストをさらに特製絵本として配布し、リストに載っている本を手取るようにしているところが目標水準を超える取組となります。作ったまま、配布したまま、から一歩進んだ取り組みをいたしました。														
2 読書活動に関わる市民に対する支援(配点6点)																	
		1 地域団体等への読書支援	読書に関わる各種団体に、資料や情報、施設の提供を行い、その活動が一層活発になるよう支援します。	引き続き、資料や施設の提供を行います。	記述	読書ボランティアや読書会に対して、資料の取り寄せ、提供を実施いたしました。(加点)各種団体について積極的に広報活動をいたしました。	3	A	3			B	2.25		評価項目 (A~D)	B(7.8点 以上)	
		2 ボランティアへの援助・育成	ボランティアの養成と活動支援を実施します。	ボランティアの養成講座及びレベルアップ講座を開催いたします。	記述	読み聞かせボランティア講座、紙芝居講座を実施いたしました。(加点)講師経験があり、ご自身もボランティア活動をしている栃木県立図書館登録講師に依頼し、大変好評でした。新たにボランティアになりたいという希望者もおりました。	3	A	3	6	A(4.8 点以上)	B	2.25	4.5			B (3.6 点以上)
		取組実績	読み聞かせボランティア養成講座は延べ65人、紙芝居講座は22人の参加がございました。目標水準を超える取組としては、依頼した講師がいずれも栃木県立図書館で講習を受けて実際にご自身もボランティア活動をしている方をお願いしている部分です。ご自身の経験を踏まえた講座は、毎回好評です。														

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 年度	指標	単年度目標の 取組結果	配点	内部評価				外部評価				外部評価	大項目の評価 合計点数		
								評価	得点	小計	評価項目	評価	得点	小計	評価項目				
V		公共施設として果たすべき機能を有した図書館【配点15点】																	
	1	図書館のPR(配点6点)																	
		1	図書館サービスの市民へのPR	図書館サービスを広く宣伝し利用者の拡大につなげます。	生涯学習情報誌(エール)等に図書館サービスの紹介記事の掲載を継続して行います。また、図書館のホームページを有効に活用して、図書館のPRを行います。	記述	エールへの掲載、図書館だよりの配布、ホームページの活用を通して、広くPRいたしました。(加点)イベントや特におすすめ事業については別にチラシを作成して手渡しいたしました。毎月一度、定期的に小学校や幼稚園保育所、児童館、子ども通園センター、市の施設に向いてチラシの配布や内容説明を行っております。	3	A	3	6	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・エールへの掲載はもう少し大きくかつ詳細なPRを望む ・行政職員へのPRが必要 	外部評価小計の合計点数	
		2	図書館サービスの行政内部へのPR	市職員の業務等に、図書館の資料と機能を一層活用してもらえよう、様々な機会を通じて行政内部に向けて図書館の有効性をPRします。	引き続き庁内に対して、レファレンスのPRを行います。	記述	庁内行政資料となる郷土や専門書類をまとめて排架し、PRしております。(加点)庁内資料である予算書決算書、古墳調査報告書などを請求し、予想される請求資料系統について検討するよう努めました。新聞記事に関する問い合わせ等がありました。	3	A	3			B	2.25					
		取組実績		目標水準を超える取組として、レファレンスやリクエスト、延長など、あまり知られていないサービスについても広報誌や館内掲示にてPRした点が挙げられます。イベント開催前にはチラシを作って手渡しし、多くの方に図書館の企画を知ってもらうよう、取組みました。															11.25/15点
	2	快適で、居心地の良い施設環境(配点6点)																	
		1	危機管理・リスクマネジメント	図書館利用で発生するトラブルに対し、適切な対応ができるように「危機管理マニュアル」の活用を推進し、職員の危機管理意識を高めます。	危機管理マニュアルを徹底させるため、研修を行います。	記述	危機管理研修を実施いたしました。(加点)図書館流通センターの危機管理マニュアルを使用しただけでなく、日常的に情報を収集し、個々がいつでも確認できるようにしている他、さらにこの図書館関係情報をもとに、危機対策を検討するなど意識の向上を図りました。	3	A	3	5.25	A(4.8点以上)	B	2.25	4.5	B(3.6点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理については、毎年継続することが重要である ・空調はこまめに調整し、良い環境で利用できるよう配慮を願う ・施設の劣化に対しては、長期的計画の導入を望む ・視聴覚室に網戸がない、洋式トイレもない 	評価項目(A~D)	
		2	快適で、居心地の良い施設環境	建物の経年劣化に対応し、維持管理に必要な適切な修繕を行います。	ウォームビズ・クールビズを実践しつつ、不快感が減るよう空調をこまめに調節し、館内環境の改善に取り組みます。	記述	空調故障により夏季期間中、冷房が使用できませんでした。(加点)適切な環境の提供にはいたりませんでした。直営館と密に連携し、扇風機や網戸の設置などで対応し、維持管理に必要な改善に対する提案と、提案を実際に行ってきたことが加点部分です。	3	B	2.25			B	2.25					
		取組実績		館内環境の改善への取組として、不具合のある個所については事前に一覧にまとめて直営館に提出いたしました。突発的なものについても、その都度直営館や統括館に報告し、3館で共通の認識をもつように情報を共有いたしました。修繕としては、空調機器の入れ替えが行われ、次年度からの快適な環境のために備えることができました。															B(9点以上)
	3	市民にとって使いやすい施設(配点3点)																	
		1	開館日・開館時間等の改善	図書館利用の利便性向上とともに、費用対効果の観点から適正な開館時間の検討を行います。	適正な開館時間等について検討を行っていきます。	記述	開館時間について、特に利用者から変更の要望はございません。さらに、館内検討を行った結果、開館時・閉館時の利用も好調で、利用者の利便性に対応した状況となったことを共通認識いたしました。今後も利用者に向き合ってまいります。	3	A	3	3	A(2.4点以上)	B	2.25	2.25	B(1.8点以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性と共に費用対効果の検討を望む 		
		取組実績		適正な開館時間等について検討いたしました。さらに館内検討も実施し、30分前倒しの開館時間、1時間延長した閉館時間についてその利用が好調で、変更してほしいというご意見もないことから、当館利用者に則した現状であることを共通認識しております。適正な開館時間について、アンケートにも盛り込んでおり、日常的にもご意見を受け付けております。															

総合評価

内部評価の合計点	98.5 100点	外部評価の合計点	76.25 100点	総合評価 (A~D)	B (60点以上)
<p>【所見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加点される点があり読みやすかった ただ、加点内容が目標水準を超える成果とは考えにくく、内部評価との差になった ○ 国分寺図書館職員の努力が感じられる 常に前向きな姿が良いと思う ○ 民間のノウハウを活かし、各種イベントや講座の多様性はさすがだと感じるが... 図書館本来の使命なども考慮しながら、特性を活かした運営を望む 概ね良好に運営されている ○ 運営状況は良好である 2階が図書館の中心である以上、サービスカウンターも2階が良い バリアフリーを考慮し、エレベーターの設置が必要である ○ “ B ” は目標水準をみたしているとのことなのでBが多くなっている（3館とも同様） 館の周辺の点検や館内の展示、各種イベント等々、その他努力していることはよくわかる これからも市民、子どもの文化水準の向上に寄与してほしいと期待している 					